



ハチ

に注意しよう!



夏の終わりから秋は、ハチ（特にスズメバチ）の行動が活発になる時期で、刺される被害も多くなります。今年は雨量が少なく、暑い日が続いたためかハチがいつになく活発に活動しています。十分注意しましょう

危険!

これは



× 黒っぽい色の服装

→ 白っぽい色の長袖・長ズボンを着て、帽子をかぶるとよい。

× 通常の殺虫剤や香水、整髪料など香りの強いもの

→ 殺虫剤もハチを刺激するので、使わない。ハチ専用の強力スプレーはよい。

× 大声を出したり、腕を振り回したりする

→ ハチを見かけたら、それ以上近づかず、低い姿勢で静かにゆっくりとその場を離れる。



室内に入ってきたハチは、基本的に刺す行動を起こさないで、窓を開けて静かに観察していれば勝手に出て行きます。

○ **すぐにその場から離れる・・・低い姿勢で・静かに・ゆっくりと**

刺されたら

○ **くり返し刺されたり、ほかのハチに攻撃されることも。**

○ **毒針は抜く**

→アシナガバチ類、スズメバチ類の毒針はハチの体から離れないので、皮膚に残らないが、ミツバチの場合は刺されると毒針が皮膚に残るので、ピンセットなどで抜く。

○ **流水で刺された部分を洗い流し、手で毒を絞り出す**

→刺された部位は、保冷剤や冷たい飲み物が入った缶やペットボトルなどで冷やしたり、市販の虫刺され用塗り薬を塗る。

○ **全身の痒み、呼吸困難、気分不良などの症状の人を見たら直ぐ医療**

機関に搬送する

ハチのアレルギー反応の症状について

刺されて15分以内に全身にかゆみやミズバレ（蕁麻疹）が出現し、続いて気分不良、腹痛、嘔吐、呼吸困難などの全身症状が出現します。

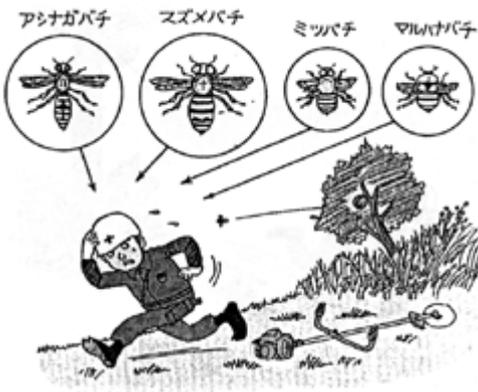
重症の場合は、アナフィラキシーショックとよばれる血圧の急激な低下を生じて死に至ることがあります。

日本では毎年20～40名程度が、ハチに伴うアナフィラキシーショックで死亡しており、そのほとんどが1時間以内に死亡しています。

ハチに刺されたのが2回目だったら

ハチに刺されたのが初めてであれば、通常はアレルギー反応を起こさないので、数時間程度で痛みが止まるはずです。

しかし、過去にハチに刺された経験がある場合は、アレルギー反応を起こす危険性があります。



ハチの攻撃性について

ハチは無差別に人に攻撃をしかけるわけではありません。スズメバチの攻撃は、次の4段階に分けられます。

1. 巣に接近する人に対する警戒・・・巣の出入り口や表面にいるハチは、人や動物を注視する一方で、一部は巣を離れて周囲を飛び回ります。
2. 巣に接近する人に対する威嚇・・・警戒していたハチが高い羽音を発して飛び回ります。
3. 巣に間接的刺激を与えたときの攻撃・・・ハチの威嚇を無視したり、これに気がつかないとき、また、巣に振動を与えた時等は、巣内から多くのハチが飛び出して大騒ぎします。
4. 巣に直接的刺激を与えたときの攻撃・・・巣を直接に刺激したり、巣を破損した場合は、巣内から多くのハチが一斉に飛び出てきて、文字通り、「ハチの巣をつついた騒ぎ」になります。興奮の激しいときは、相手の体に噛みつき、何度も毒針を突き立てます。